

看護学科 履修系統図

〈教養科目〉

◎学習・教育目標

必修科目

選択科目

科目群の学習・教育目標

1年次
前期

後期

2年次
前期

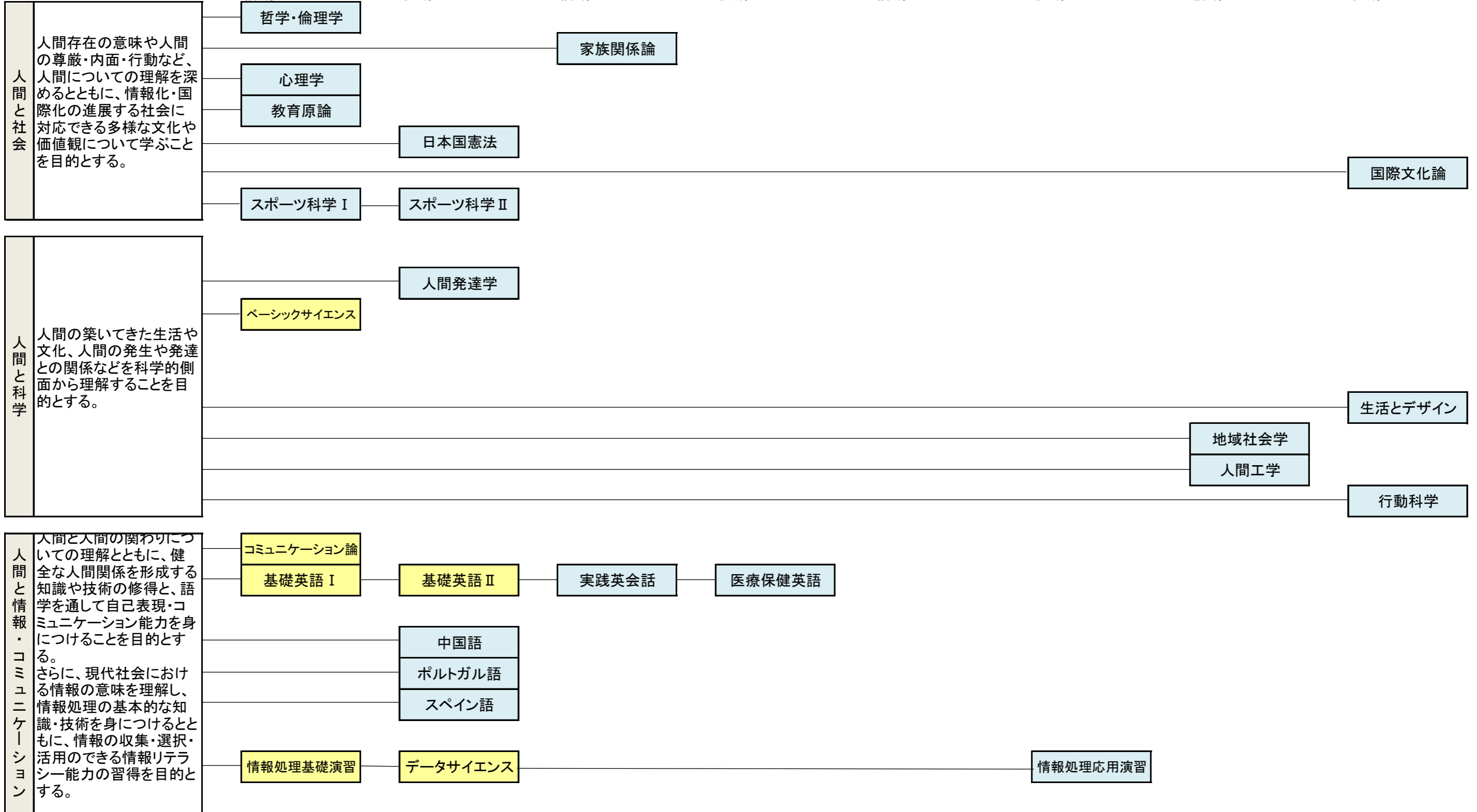
後期

3年次
前期

後期

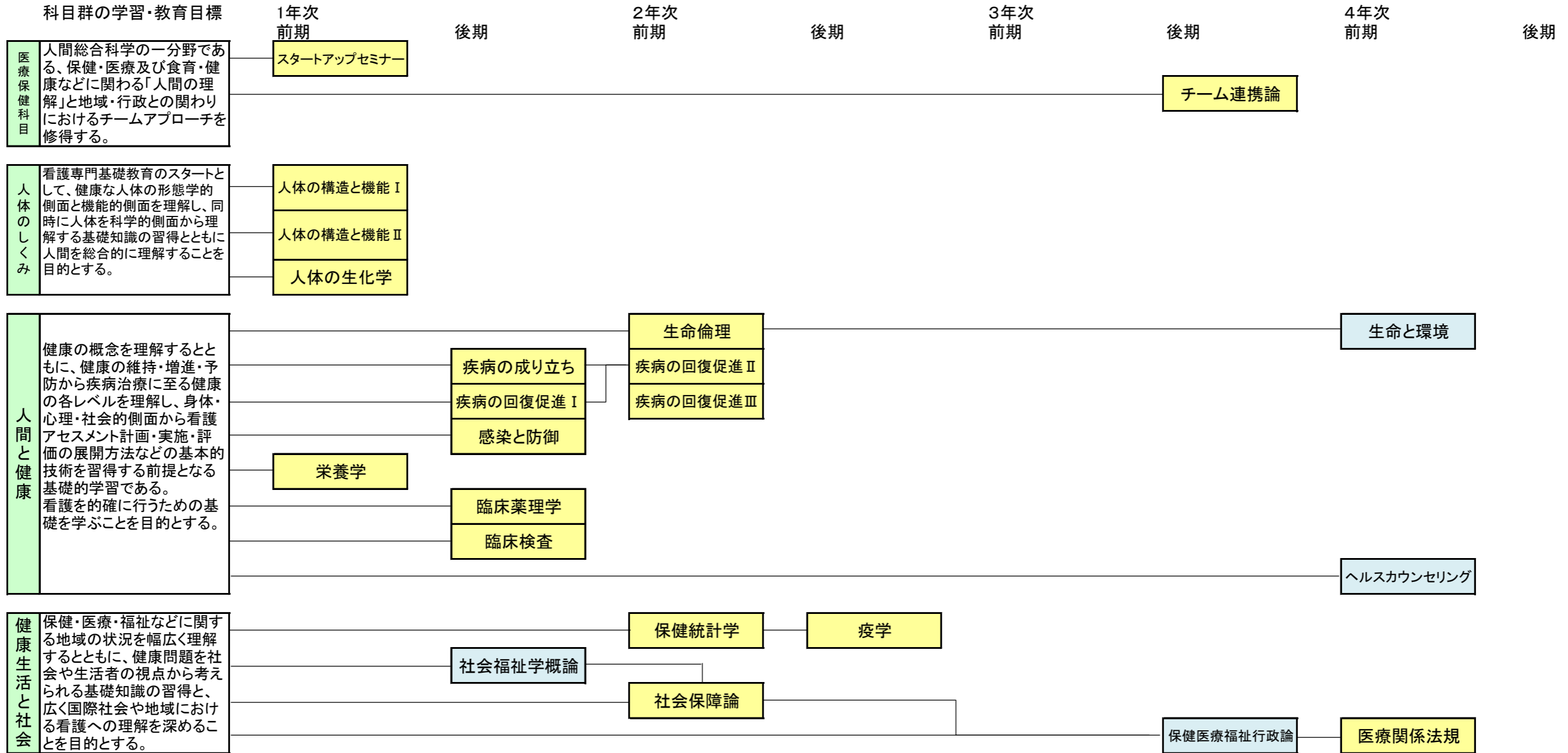
4年次
前期

後期



看護学科 履修系統図

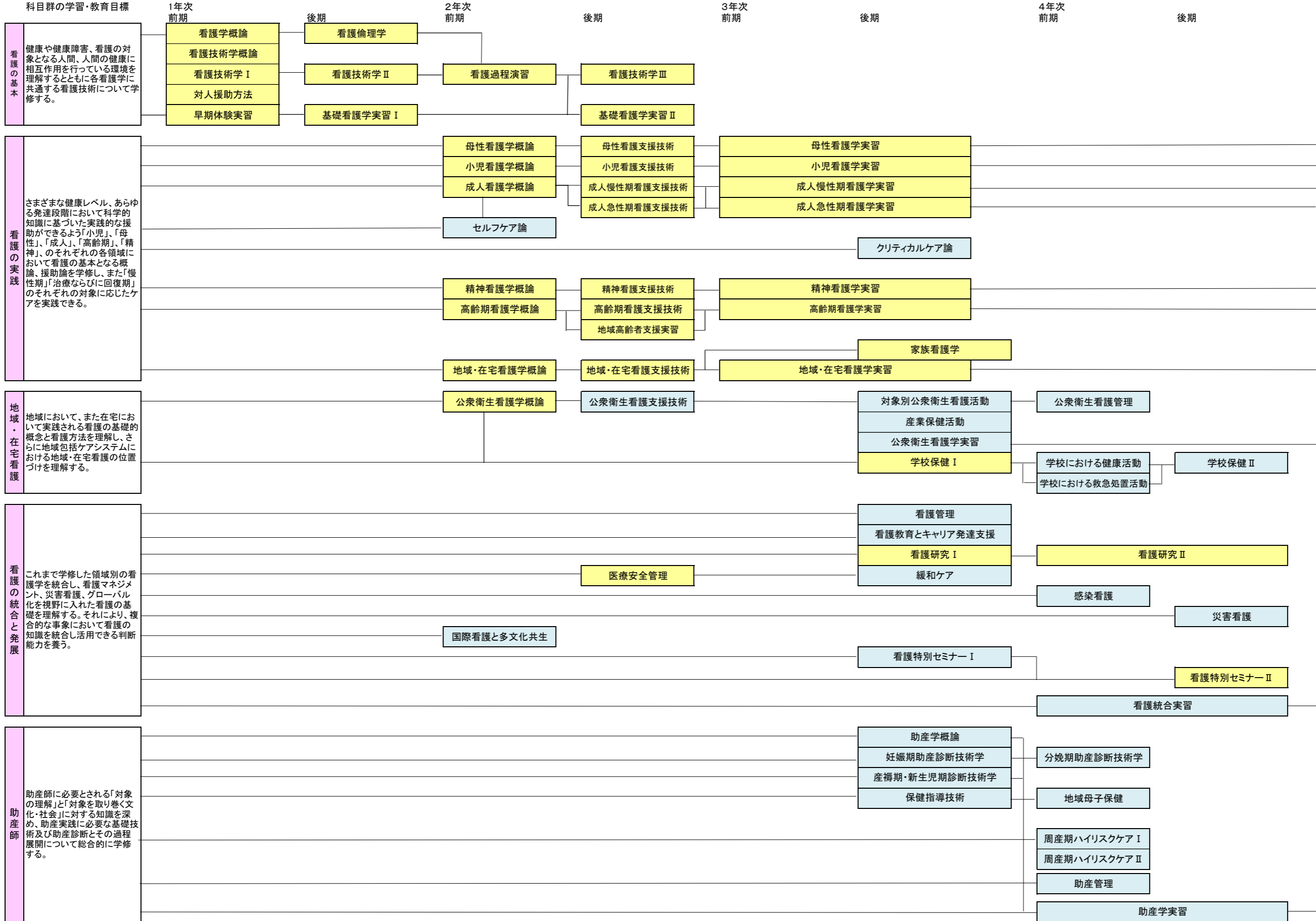
〈専門基礎科目〉
◎学習・教育目標



看護学科 履修系統図

〈専門科目〉
◎学習・教育目標

科目群の学習・教育目標



看護の基本
健康や健康障害、看護の対象となる人間、人間の健康に相互作用を行っている環境を理解するとともに各看護学に共通する看護技術について学修する。

看護の実践
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階において科学的知識に基づいた実践的な援助ができるよう「小児」、「母性」、「成人」、「高齢期」、「精神」、それぞれの各領域において看護の基本となる概論、援助論を学修し、また「慢性期」「治療ならびに回復期」のそれぞれの対象に応じたケアを実践できる。

地域・在宅看護
地域において、また在宅において実践される看護の基礎的概念と看護方法を理解し、さらに地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の位置づけを理解する。

看護の統合と発展
これまで学修した領域別の看護学を統合し、看護マネジメント、災害看護、グローバル化を視野に入れた看護の基礎を理解する。それにより、複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を養う。

助産師
助産師に必要とされる「対象の理解」と「対象を取り巻く文化・社会」に対する知識を深め、助産実践に必要な基礎技術及び助産診断とその過程展開について総合的に学修する。